

大崎、大同が混戦抜け出す、女子は広島が地力勝ち

~第29回日本ハンドボールリーグ第4週~

第29回日本ハンドボールリーグ第4週は愛知などで男子5試合、女子1試合が行われ、男子では大崎電気がアラコ九州に競り勝って無敗を守ったほか、大同特殊鋼がホンダ、アラコ九州を連破、女子は第2週で初黒星を喫した広島メイプルレッズが北国銀行に30-22と完勝して上昇ムードをアピールした。男子はこれで第1ステージが終了、V7を狙うホンダは3位に甘んじ、前回3位の湧永製薬は勝ち星が伸びず6位と苦しい戦いが続いている。

ここまで4勝1分と単独トップを快走する大崎電気はアラコ九州と対戦。出だしはアラコ九州が呉相民の連打で好スタート、ノーマークミスなどでいまひとつ波に乗れない大崎電気だったが、10分過ぎに呉を密着マンツーするとアラコ九州の得点が止まり、スピーディな展開から岩本、宮崎らで加点して主導権を握った。そして16-12と大崎4点リードで迎えた後半、阪の活躍で7分16-18と食い下がっていたアラコ九州は、このあと退場者が続いてペースに乗れず、逆に宮崎、森本らで5連取した大崎電気が一気に混戦を抜け出した。アラコ九州は20分過ぎから7人攻撃を仕掛けて懸命に追撃したものの3点差まで詰め寄ったのが精一杯だった。

混戦が続く2位以下の争いは、大同特殊鋼がホンダに27-26と競り勝ち、アラコ九州戦も36-28で白星を握り、1試合多く消化しているとはいえた大崎電気と勝点11で並んだ。ホンダ戦は開始10分で3-8と5点ビハインドの大同特殊鋼が、金性憲のロングによる連続得点をきっかけにペースを上げ、20分10-10の同点とすると守りのリズムもよくなり、16-13と3点リードでUターン。後半に入ってホンダが加藤の7mTなどで3分16-16と同点に追いつくと、その後は両チーム一歩も譲らぬ展開となつたが、同点、逆転のチャンスに好ショットを連発、後半だけで4得点をマークしたルーキー末松の活躍もあって大同特殊鋼が1点差で競り勝った。続くアラコ九州戦は後半10分22-23と逆転を許したものの、ここからエース金性憲が豪快なショットで再逆転、中盤以降は大田、白元皓らの得点をからめて勝利を不動のものとした。

このほかトヨタ車体-ホンダ熊本戦は、監督兼任の吉田、香川らでテンポよく加点したトヨタ車体が、GK木下の好セーブも光り、譚崇聖、若松らで粘るホンダ熊本を29-25で突き放した。ホンダ-湧永製薬戦は、両チームとも決定的なリードを奪えず一進一退を繰り返す中、後半13分過ぎから中谷のポストや速攻などで6点を連取したホンダが混戦を抜け出し、10分以上も湧永製薬のショットをシャットアウトしたGK吉井の好守がホンダに白星をもたらした。

1試合のみの女子は広島メイプルレッズが北国銀行相手に30-22と快勝。立ち上がり北国銀行に3連取を許したもの、8分に青戸がサイドから飛び込んで初得点をマークすると、パスミス、ショートミスを繰り返す北国銀行の乱れに乗じて杉本、石山らで加点、中盤以降も着実に得点を伸ばし、13-9と4点リードで前半を折り返した。後半に入ると15分過ぎまで互いに8点ずつを取り合う互角の展開。しかし、試合巧者の広島メイプルレッズは北国・小野澤の退場から一気に加速、5連続得点を奪って試合の大勢を決めた。

第5週は男子3試合、女子1試合が組まれており、序盤から激しい順位レースが続く男子は、どの試合も1点を争うスリリングな展開が必至。首位の大崎電気はゲームがなく、大同特殊鋼、ホンダが上位グループに踏みとどまるかどうか、女子は“打倒・広島メイプルレッズ”に燃えるオムロンが北国銀行相手に3連勝を飾るかに注目。

第5週の日程

[1部]

10月16日(土) 三重・四日市市中央緑地体育館(近鉄線新正駅徒歩10分)
宮崎・小林市市民体育館(JR吉都線小林駅徒歩10分)
沖縄・浦添市民体育館(バス停浅ノ浦徒歩3分)

17:00~□(男)ホンダ×アラコ九州
18:30~□(男)トヨタ車体×湧永製薬
13:00~□(男)ホンダ熊本×大同特殊鋼
15:00~□(女)オムロン×北国銀行



大同特殊鋼は金性憲の活躍でホンダ、アラコ九州を連破

10月9日(土) 男子1部 愛知・刈谷市体育館	
トヨタ車体 29 (16 - 15) 2勝1分3敗	ホンダ熊本 25 (13 - 10) 1勝0分5敗
<1/2> K 木 下 7/ 9 田中勝 0/ 0 田中秀 1/ 2 佐々木 0/ 1 迂 2/ 5 野 村 3/ 4 北 出 K 田 平 0/ 1 清 水 0/ 0 長谷川 1/ 1 7/ 9 吉 田 2/ 2 5/ 7 香 川 1/ 1 1/ 1 崎 前	藤 田 K 大 宮 0/ 0 米 满 0/ 0 上 田 3/ 4 本 多 0/ 0 大 井 0/ 0 佐 伯 4/ 4 松 岡 K <0/1> 若 森 5/ 8 1/ 2 松 本 3/ 7 松 延 K <0/2> 譚 崇聖 7/ 13 池 辺 2/ 2 柳 田 0/ 5
3/3 26/39 9(FPP)5 審判(根来・青木)	24/43 1/2 観客 238人

10月9日(土) 男子1部 奈良・生駒市市民体育館	
大崎電気 32 (16 - 12) 5勝1分0敗	アラコ九州 29 (16 - 17) 2勝1分3敗
1/1 2/ 7 豊 田 0/ 0 加 藤 0/ 0 前 田 5/ 7 中 川 1/ 1 佐 藤 1/ 2 永 島 5/ 5 若 本 1/ 0 森 本 1/ 1 大 田 1/ 0 森 本 <0/1> K 濱 口 4/ 4 東 石 <1/1> K 石 原 3/ 5 猪 妻 8/11 宮 崎 吉 田 K <0/1>	田 中 利 K 高 山 0/ 0 村 上 直 5/ 5 植 木 0/ 2 村 上 秀 6/10 吳 相 民 7/10 1/2 佐 久 間 0/ 0 鶴 田 0/ 1 田 中 慎 0/ 0 阪 7/11 石 黒 2/ 5 松 野 K <0/1> 朴 正 鎮 1/ 4 吉 田 K <0/1>
2/2 30/43 5(FPP)11 審判(坪井・河合)	28/48 1/2 観客 859人

個人賞レース途中経過

まだ序盤戦の段階だが、男女1部の個人賞レースを見ていこう。

男子の得点王、フィールド得点賞争いは、いずれも上位4位までを外国人選手が独占。吳相民(アラコ九州)、譚崇聖(ホンダ熊本)、白元皓、金性憲(大同特殊鋼)と代表的なポイントゲッターが名を連ねる。金性憲、吳相民は7mスロー得点賞部門でもトップを争う。

注目の宮崎、岩本の大崎電気勢が続き、大田(大同特殊鋼)、香川(トヨタ車体)ら、期待の若手も奮闘して存在をアピールしている。

シート率賞では、前々回、前回のタイトルホルダー松林(大同特殊鋼)が8割を超えるアベレージをマークして快走中。7mスロー阻止賞では、際立った数字はないものの、石原(大崎電気)、田平(トヨタ車体)ら新锐も健闘しているのが目を引く。

女子も金鎮順(広島メイプルレッズ)、劉晋淑(オムロン)、郭惠靜(ソニーセミコンダクタ九州)と外国人選手が得点王、フィールド得点賞争いの中心となる一方、田中(ソニーセミコンダクタ九州)、杉本(広島メイプルレッズ)らも着々と得点を重ね、争いに割って入る勢い。劉晋淑、田中、杉本はシート率賞でもしのぎを削っている。7mスロー阻止賞では、田代、田中の北国銀行コンビがともに5割以上のアベレージを残して、好ダッシュのチームを盛り立てている。

10月9日(土) 男子1部 奈良・生駒市市民体育館	
大同特殊鋼 27 (16 - 13) 4勝1分1敗	ホンダ 26 (11 - 13) 2勝1分2敗
<1/4> K 萩 田 3/ 3 松 林 0/ 0 南 川 2/ 2 峯 村 0/ 0 中 谷 0/ 0 市 原 3/ 4 大 田 <0/1> K 日 原 1/ 2 渡 遷 K 高 木 0/ 0 山 本 5/11 白 元 皓 3/ 3 4/14 金 性 憲 6/10 末 松	中 谷 2/ 2 松 林 0/ 0 柳 本 3/ 4 河 瀬 0/ 0 横 地 2/ 7 市 原 3/ 4 4/4 大 田 2/ 5 広 政 0/ 0 谷 口 4/11 0/1 千 石 K <0/2> K 高 木 鈴 木 0/ 0 0/ 0 山 本 阿 部 3/ 6 吉 井 K <0/1> 羽 賀 3/ 4
3/3 24/46 9(FPP)13 審判(楓・渡辺)	22/44 4/5 観客 917人

10月9日(土) 女子1部 広島・佐伯区スポーツセンター	
広島メイプル レッズ 30 (13 - 9) 2勝0分1敗	北国銀行 22 (17 - 13) 2勝0分1敗
K 萩 田 6/ 6 土 庫 0/ 0 南 川 0/ 1 樹 山 4/ 5 青 戸 0/ 0 大 前 3/ 5 河 岡 0/ 0 菅 野 0/ 0 岩 井 0/ 0 岩 井 <0/1> K 浅 井 6/10 杉 本 3/ 5 石 山 2/ 4 5/10 金 鎮 順	高 森 2/ 2 6/ 6 土 庫 0/ 1 樹 山 4/ 5 青 戸 0/ 0 大 前 3/ 5 河 岡 0/ 0 菅 野 0/ 0 岩 井 0/ 0 岩 井 <2/4> K 浅 井 6/10 杉 本 3/ 5 石 山 2/ 3 5/10 金 鎮 順
2/6 28/49 9(FPP)13 審判(武智・定岡)	20/43 2/4 観客 257人

10月11日(月) 男子1部 三重・四日市市中央緑地体育館	
大同特殊鋼 36 (19 - 15) 5勝1分1敗	アラコ九州 28 (17 - 13) 2勝1分4敗
<0/3> K 萩 田 4/ 5 松 林 0/ 0 南 川 3/ 7 峯 村 0/ 0 中 谷 0/ 1 市 原 7/ 8 大 田 0/ 2 0/ 3 岩 井 1/ 4 吳 成 玉 0/ 0 岩 井 <2/4> K 浅 井 6/ 6 6/13 金 性 憲	中 利 K <0/1> 高 山 0/ 0 村 上 直 0/ 3 植 木 7/10 村 上 秀 3/ 5 吳 相 民 8/15 3/3 佐 久 間 0/ 0 鶴 田 1/ 1 田 中 慎 0/ 0 阪 3/ 9 石 黒 2/ 5 松 野 K <0/3> 朴 正 鎮 1/ 4 吉 田 K <0/2>
6/6 30/48 5(FPP)9 審判(根来・青木)	25/52 3/3 観客 561人

10月11日(月) 男子1部 三重・四日市市中央緑地体育館	
ホンダ 19 (8 - 8) 3勝1分2敗	湧永製薬 15 (11 - 7) 1勝1分4敗
4/ 5 中 谷 0/ 0 鶴 田 3/ 5 柳 本 0/ 1 河 瀬 2/ 8 横 地 0/ 1 1/ 6 加 藤 4/ 7 広 政 0/ 1 2/ 7 谷 口 <0/2> K 千 石 0/ 0 鈴 木 3/ 5 阿 部 0/ 3 羽 賀	下 川 2/ 8 見 浜 本 1/ 3 福 田 0/ 0 小 藤 0/ 0 東 2/ 9 1/ 1 坪 根 K <2/2> 小 沢 3/13 2/2 杉 山 0/ 0 松 村 K 古 代 1/ 8 渡 山 口 2/ 5
0/2 19/47 7(FPP)5 審判(浅野・神谷)	12/52 3/3 観客 717人

北陸電力が順調に進撃

2試合が行われた2部男子は、H C 東京とのマッチレースが有力視される北陸電力が、地力を秘めるトヨタ自動車に33-17と快勝。北陸電力は1人に得点が偏ることなく、杉山、桜井、落合ら、それぞれが得点にからむ理想的な戦いを継続しているのが特徴。

埼玉国体明けの11月3日、埼玉で行われるライバル・H C 東京との直接対決第1戦が真価を問われる場所となる。

もう1試合の大坂ガス・豊田合成戦は、前半4点のビハインドを背負った豊田合成が、後半、エース佐藤、ルーキー原らを中心に大爆発。効果的な連続得点で逆転に成功し、今シーズン初勝利をマークした。

10月9日(土) 男子2部 福井・北陸電力福井体育館フレア

10月9日(土) 男子2部 福井・北陸電力福井体育館フレア	
北陸電力 33 (16 - 10) 3勝0分0敗	トヨタ 17 (17 - 7) 1勝0分2敗
K 西 田 3/ 4 高 橋 0/ 1 神 田 6/ 6 落 合 5/ 9 桜 井 5/ 7 前 田 2/ 3 高 田 2/ 2 6/10 杉 山 4/ 6 北 村 0/ 0 表 藤 K 安 藤 K 大 原 <0/2> K 有 江	三 上 2/ 4 厚 沢 1/ 6 2/2 甲 斐 田 0/ 0 大 塚 0/ 0 坂 口 1/ 3 金 子 0/ 0 田 中 4/ 7 吉 永 0/ 5 倉 田 0/ 1 藤 田 1/ 1 稻 本 K <0/2> 香 井 3/ 3 福 田 3/ 8
2/2 31/46 5(FPP)9 審判(高田・田村)	15/38 2/2 観客 150人

10月9日(土) 男子2部 兵庫・大阪ガス今津総合グランド体育館

10月9日(土) 男子2部 兵庫・大阪ガス今津総合グランド体育館	
豊田合成 30 (14 - 18) 1勝0分3敗	大阪ガス 26 (16 - 8) 0勝0分3敗
9/14 原 嶋 崎 K <0/2> 5/ 7 山 越 奥 野 0/ 0 0/ 0 川 島 三 羽 5/11 1/1 3/ 3 0/ 0 門 野 川 野 1/ 1 0/ 0 0 索 田 大 庭 2/ 4 2/ 6 湯 脇 濱 田 平 5/ 6 K 名 倉 浜 田 0/ 0 7/11 佐 藤 豪 八 帰 7/17 3/ 4 半 田 向 井 5/ 6 0/ 1 1 山 田 島 0/ 0 <0/1> 0/ 2 佐 藤 優 福 田 K <0/1> 豊田合成にオウンゴー ルによる1得点あり	9/14 原 嶋 崎 K <0/2> 5/ 7 山 越 奥 野 0/ 0 0/ 0 川 島 三 羽 5/11 1/1 3/ 3 0/ 0 門 野 川 野 1/ 1 0/ 0 0 索 田 大 庭 2/ 4 2/ 6 湯 脇 濱 田 平 5/ 6 K 名 倉 浜 田 0/ 0 7/11 佐 藤 豪 八 帰 7/17 3/ 4 半 田 向 井 5/ 6 0/ 1 1 山 田 島 0/ 0 <0/1> 0/ 2 佐 藤 優 福 田 K <0/1> 豊田合成にオウンゴー ルによる1得点あり
2/2 31/46 5(FPP)9 審判(高田・田村)	15/38 2/2 観客 150人

選手・役員追加登録

(男子1部)
ホンダ
コーチ 四方 篤
10月11日より
・登録抹消
コーチ 広政 宜孝

ナマ情報をインターネットで画像とともに.....

日本ハンドボールリーグの公式ホームページをご覧ください。

アドレス <http://www.jhl.handball.jp/>

iモード版 <http://www.jhl.handball.jp/i/>

見どころをあなたのものと郵送いたします.....

日本ハンドボールリーグ公式情報・週間「JHL ニュース」

年間20回発行予定/3000円(郵送料込)

公式ホームページよりダウンロードしてご利用いただくことも可能です

日本ハンドボールリーグ委員会(TEL03-3481-2494・FAX03-3481-2367)

男女1部個人賞レース 第4週終了

《男子》

得点王

1 吴 性 憲 (アラコ九州)	59 点	(7試合)	1 金 鎮 順 (メイブルレッズ)	28 点	(3試合)
2 金 性 憲 (大同特殊鋼)	54 点	(7試合)	2 田中 美音子 (ソニー)	20 点	(3試合)
3 譚 崇 聖 (ホンダ熊本)	41 点	(6試合)	3 劉 晋 淑 (オムロン)	18 点	(2試合)
4 白 元 喆 (大同特殊鋼)	36 点	(7試合)	3 杉 本 絵 美 (メイブルレッズ)	18 点	(3試合)
5 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	34 点	(6試合)	3 郭 惠 静 (ソニー)	18 点	(3試合)
6 岩 本 真 典 (大崎電気)	33 点	(6試合)	6 菅 谷 美 奈 (HC名古屋)	15 点	(3試合)
7 大 田 修 一 (大同特殊鋼)	31 点	(7試合)	7 小野澤 香 理 (北国銀行)	14 点	(3試合)
7 豊 田 賢 治 (大崎電気)	31 点	(6試合)	7 富 田 有 美 (オムロン)	14 点	(2試合)
9 香 川 将 之 (トヨタ車体)	29 点	(6試合)	9 北 岡 久 (北国銀行)	13 点	(3試合)
10 東 慶 一 (湧永製薬)	28 点	(6試合)	9 中 村 尚 美 (北国銀行)	13 点	(3試合)
11 谷 口 了 (ホンダ)	26 点	(6試合)	11 水 田 菜 美 子 (ソニー)	11 点	(3試合)
12 松 林 克 明 (大同特殊鋼)	25 点	(7試合)	12 土 屋 友 美 (メイブルレッズ)	10 点	(3試合)
13 若 松 龍 介 (ホンダ熊本)	24 点	(6試合)	13 佐 久 川 ひとみ (オムロン)	9 点	(2試合)
13 小 沢 勝 利 (湧永製薬)	24 点	(6試合)	13 石 山 亜 希 子 (メイブルレッズ)	9 点	(3試合)
15 松 本 博 文 (ホンダ熊本)	23 点	(6試合)	13 加 藤 恵 理 (HC名古屋)	9 点	(3試合)
			13 佐 藤 由 紀 恵 (HC名古屋)	9 点	(3試合)
			13 吳 成 玉 (メイブルレッズ)	9 点	(3試合)
			13 上 町 史 織 (北国銀行)	9 点	(3試合)

フィールド得点賞

1 吴 性 憲 (アラコ九州)	47 点	(7試合)	1 田 中 美 音 子 (ソニー)	20 点	(3試合)
2 譚 崇 聖 (ホンダ熊本)	41 点	(6試合)	2 金 鎮 順 (メイブルレッズ)	19 点	(3試合)
3 金 性 憲 (大同特殊鋼)	39 点	(7試合)	3 劉 晋 淑 (オムロン)	18 点	(2試合)
4 白 元 喆 (大同特殊鋼)	36 点	(7試合)	3 杉 本 絵 美 (メイブルレッズ)	18 点	(3試合)
5 岩 本 真 典 (大崎電気)	33 点	(6試合)	5 郭 惠 静 (ソニー)	16 点	(3試合)
6 宮 崎 大 輔 (大崎電気)	32 点	(6試合)	6 小野澤 香 理 (北国銀行)	14 点	(3試合)
7 大 田 修 一 (大同特殊鋼)	26 点	(7試合)	7 北 岡 久 (北国銀行)	13 点	(3試合)
7 香 川 将 之 (トヨタ車体)	26 点	(6試合)	8 中 村 尚 美 (北国銀行)	12 点	(3試合)
9 松 林 克 明 (大同特殊鋼)	25 点	(7試合)	8 菅 谷 美 奈 (HC名古屋)	12 点	(3試合)
10 東 慶 一 (湧永製薬)	23 点	(6試合)	10 水 田 菜 美 子 (ソニー)	11 点	(3試合)

シート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1 松 林 克 明 (大同特殊鋼)	25点 / 31射	0.806	1 劳 晋 淑 (オムロン)	18点 / 24射	0.750
2 岩 本 真 典 (大崎電気)	33点 / 51射	0.647	2 田 中 美 音 子 (ソニー)	20点 / 28射	0.714
3 大 田 修 一 (大同特殊鋼)	26点 / 41射	0.634	3 杉 本 絵 美 (メイブルレッズ)	18点 / 29射	0.621
4 香 川 将 之 (トヨタ車体)	26点 / 47射	0.553	4 北 岡 久 (北国銀行)	13点 / 21射	0.619
5 譚 崇 聖 (ホンダ熊本)	41点 / 80射	0.513	5 小野澤 香 理 (北国銀行)	14点 / 24射	0.583

7mスロー得点賞

1 金 性 憲 (大同特殊鋼)	15 点	(7試合)	1 金 鎮 順 (メイブルレッズ)	9 点	(3試合)
2 吳 相 民 (アラコ九州)	12 点	(7試合)	2 富 田 有 美 (オムロン)	6 点	(2試合)
3 豊 田 賢 治 (大崎電気)	9 点	(6試合)	2 山 田 千 尋 (ソニー)	6 点	(3試合)
3 松 本 博 文 (ホンダ熊本)	9 点	(6試合)	4 坪 井 美 帆 (メイブルレッズ)	4 点	(3試合)
3 谷 口 了 (ホンダ)	9 点	(6試合)	5 吉 田 祥 子 (オムロン)	3 点	(2試合)
			5 佐 藤 由 紀 恵 (HC名古屋)	3 点	(3試合)
			5 村 上 亜 樹 (北国銀行)	3 点	(2試合)
			5 菅 谷 美 奈 (HC名古屋)	3 点	(3試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1 坪 根 敏 宏 (湧永製薬)	3本 / 8射	0.375	1 田 代 ひ ろ み (北国銀行)	6本 / 11射	0.545
2 石 原 秀 久 (大崎電気)	3本 / 9射	0.333	2 田 中 麻 美 (北国銀行)	3本 / 6射	0.500
3 濱 口 靖 (大崎電気)	2本 / 7射	0.286	3 浅 井 友 可 里 (メイブルレッズ)	4本 / 14射	0.286
4 松 岡 厚 志 (ホンダ熊本)	2本 / 9射	0.222	3 飛 田 季 実 子 (ソニー)	2本 / 7射	0.286
5 田 平 龍 太 郎 (トヨタ車体)	4本 / 20射	0.200	5 勝 田 祥 子 (オムロン)	1本 / 4射	0.250

第29回日本ハンドボールリーグ成績表

第4週終了現在 10月11日

順位	1部男子	大崎電気	大同特殊鋼	ホンダ	トヨタ車体	アラコ九州	湧永製薬	ホンダ熊本	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大崎電気	30	26	29	32	25	28	6	5	1	0	11	170	144	26	
2	大同特殊鋼	20		27	37	28 36	26	27	7	5	1	1	11	201	176	25
3	ホンダ	26	26		26	27	19	23	6	3	1	2	7	147	134	13
4	トヨタ車体	19	21	19		29	23	29	6	2	1	3	5	140	161	-21
5	アラコ九州	29	28 28	29	21		20	22	7	2	1	4	5	177	202	-25
6	湧永製薬	24	20	15	23	29		28	6	1	1	4	3	139	143	-4
7	ホンダ熊本	26	23	18	25	21	30		6	1	0	5	2	143	157	-14

順位	1部女子	メイフルレッスン	オムロン	北国銀行	ソニー	H C 名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	広島メイフルレッスン			30	33	35	3	2	0	1	4	98	86	12
2	オムロン				30	31	2	2	0	0	4	61	38	23
3	北国銀行	22			25	21	3	2	0	1	4	68	70	-2
4	ソニーセミコンダクタ九州	35	22	20			3	1	0	2	2	77	88	-11
5	H C 名古屋	29	16	20			3	0	0	3	0	65	87	-22

順位	2部男子	H C 東京	北陸電力	トヨタ自動車	豊田合成	大阪ガス	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	H C 東京			26	37	39	3	3	0	0	6	102	36	66
2	北陸電力			33	36	33	3	3	0	0	6	102	59	43
3	トヨタ自動車	10	17		29		3	1	0	2	2	56	79	-23
4	豊田合成	13	23	20		30	4	1	0	3	2	86	128	-42
5	大阪ガス	13	19		26		3	0	0	3	0	58	102	-44

この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1.対戦間勝点 2.対戦間得失点差 3.総得失点差 4.総得点 の多い順で順位付けしています。